

2019年11月18日
株式会社日立産機システム

日立 SEM 社がミャンマー連邦共和国 電力・エネルギー省より 配電用変圧器約 5,600 台を受注



日立 SEM 社が製造している配電用変圧器

株式会社日立産機システム(取締役社長: 荒谷 豊)のミャンマー連邦共和国(以下、ミャンマー)における現地法人 Hitachi Soe Electric & Machinery Co., Ltd.(以下、日立 SEM 社)は、ミャンマーの電力・エネルギー省(Ministry of Electricity and Energy)より、配電用変圧器約 5,600 台を受注しました。受注金額は、約 1,064 万米ドル(約 11 億円)です。

ミャンマーでは、近年の経済発展を背景に電力需要が急速に高まっており、これを支える電力インフラの整備が大きな課題となっています。ミャンマー政府は、2018 年まで 50%に満たない電化率を 2030 年までに 100%とすることを中長期的目標として掲げています。その一環として 2015 年 9 月、世界銀行の融資を受けて、ミャンマー全土に配電網を整備し、全家庭への電力供給の実現をめざす「Myanmar National Electrification Project (NEP)」を策定しました。NEP の機材に関する初回の入札では、日立 SEM 社が配電用変圧器約 5,400 台を納入^{*1}し、今回、2 回目の入札が行われ、日立 SEM 社が配電用変圧器約 5,600 台を受注し、計約 11,000 台を納入します。

日立 SEM 社は、配電用変圧器の生産を年内より開始し、2020 年中に全数を納入する計画であり電化率の向上に貢献します。

今後、日立 SEM 社は電力・配電用変圧器を中心とする送配電機器の製造、販売、据付・保守を通じ、ミャンマー国内における電力の安定供給を支えていきます。

*1 2017年9月28日ニュースリリース

「日立 SEM 社がミャンマー連邦共和国 電力・エネルギー省より、配電用変圧器約 5,400 台を受注」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/09/0928.html>



初回入札時に納入された配電用変圧器

■Hitachi Soe Electric & Machinery Co., Ltd.(日立 SEM 社)について

日立 SEM 社は 2015 年にミャンマー連邦共和国 ヤンゴン市で設立された変圧器メーカーです。ミャンマーの製造工場において製造された信頼性の高い変圧器、配電盤などを、ミャンマーを中心とした東南アジア地域で展開しています。

詳しくは、日立 SEM 社のウェブサイト(<http://www.hitachi-soelectric.com/>)をご覧ください。

■日立産機システムについて

日立グループは、OT(Operational Technology)、IT(Information Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。日立グループの、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、IT の 5 分野の中、日立産機システムはインダストリー分野のプロダクト事業を通じてお客さまの社会価値、環境価値、経済価値の 3 つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立産機システムのウェブサイト(<https://www.hitachi-ies.co.jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立産機システム 経営企画本部 事業企画部 [担当:瀬戸口]

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3 番地 AKS ビル

TEL:03-4345-6535(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
